銀賞　渡辺翔太郎君　麻生合歓君

北海道帯広工業高等学校建築科　　十勝が丘美術館計画案

通路型、テント型、半地下型の 3 つの展示空間をなだらかな緑地に位置付けた提案である。残念なことに配置図がなく、自然環境と一体化した全体の景観構成の提案が表現されていないが、通路型の展示空間は内外の展示を楽しむことができ、テント型はそれ自体がオブジェクトで外部空間に彩りを与えている。また、半地下型は室温の安定にも寄与し、その起伏のある天井に十勝の山並みを表現するなど、建築デザインの力量を評価したい。

（文責：齊藤　徹君）